

吸音率測定の常識が変わる

垂直入射吸音率測定システム

WinZac 8

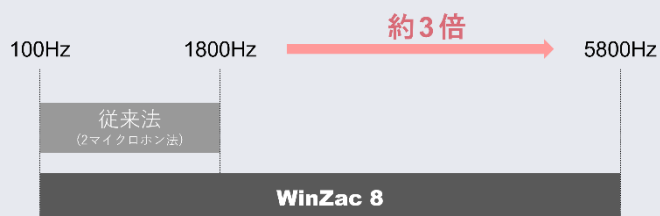
広帯域を高精度で一発測定！



広帯域対応 垂直入射吸音率測定システム **WinZac 8** は、単一のサンプルで広帯域の吸音率測定を安定して行うことができる新しい音響計測システムです。8つのマイクロホンを用いることにより、同じ管径の従来型音響管と比べて2倍以上高い周波数まで高精度な測定をすることが可能です。

幅広い周波数範囲の測定を実現

測定可能周波数範囲 (管径100mm)



1つのサンプルで 高精度な測定が可能

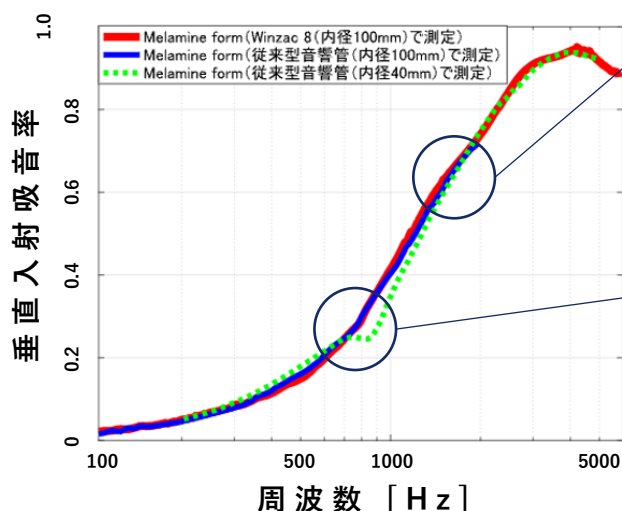


● 下記の課題に心当たりはございませんか？

- 広帯域の吸音率測定には大径管・小径管の2種類の音響管が必要
それらの測定結果がきれいに繋がらない
- サンプルの設置条件や抜き出し箇所によって測定結果にばらつきがある
- 測定結果にサンプルの拘束による影響がみられる



WinZac 8 がその課題を解決します



● ここに注目

同じ径 (φ100) の音響管 (青線) と **WinZac 8** (赤線) を比べてみましょう。従来の音響管では2,000 Hzが測定限界であることが分かります。対して**WinZac 8** は約3倍の5,800 Hzまで測定が可能です。

● ここに注目

管径の異なる音響管による測定結果を比べてみましょう。小径の音響管 (緑線) ではサンプルのサイズや設置条件の影響を受けます。大径の音響管ではこのような影響を低減した高精度な測定が可能です。

	内径100mm管タイプ	内径40mm管タイプ
サンプルサイズ	直径 100 [mm]	直径 40 [mm]
測定周波数範囲 *)	100~5,800 [Hz]	200~10,000 [Hz]
規格準拠法	100~1,800 [Hz]	200~4,800 [Hz]
8, 16マイクロホン法	500~5,800 [Hz]	1,000~10,000 [Hz]
測定方法	吸音率: ISO 10534-2 / JIS 1405-2, 8マイクロホン法 透過損失: ASTM E2611, 16マイクロホン法	
測定可能音響特性	・ 垂直入射吸音率 ・ 音響透過損失 ・ 複素音圧反射率 ・ 比音響インピーダンス ・ 特性インピーダンス ・ 伝搬定数 ・ 実効密度 ・ 体積弾性率 ・ 伝達関数 ・ ランダム入射吸音率 (推定値) ・ 音響透過損失 (推定値)	



10 kHzまで測定可能な内径40 mm管もございます



受託測定も承っております

*)規格に準拠した方法と8, 16マイクロホン法を組み合わせた場合の測定周波数範囲です。

詳しいお問い合わせは下記まで



日本音響エンジニアリング株式会社

■ソリューション事業部
〒130-0021 東京都墨田区緑1-21-10 BR両国2ビル
TEL.03-3634-5300 FAX.03-3634-5350

■名古屋営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-9-14 伏見スクエア8階
TEL.052-602-4682 FAX.052-602-4683

●ホームページからのお問い合わせ
<https://www.no.e.co.jp/contact/>



HIBINO
hibino group
www.no.e.co.jp